

国際的なRWD研究を実現する医療情報分析基盤の検討

愛媛大学医学部 医療情報学講座 木村映善

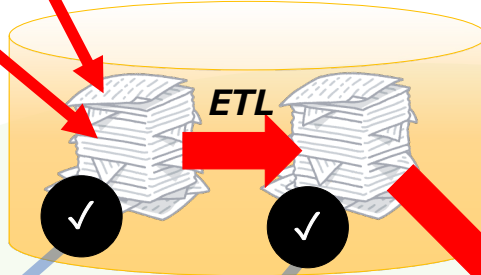


- ①承認された研究者のみの利用制限
- ②RWD研究の再現性、公正性担保
- ③国際的な共同研究の実現

参加医療機関



MDXによる安全な情報処理基盤



- ③OMOP/CDMに準拠したデータベースによる国際的なデータ標準化を通じた国際的な共同研究の実現

学認RDMによる研究公正性確保



発生源・データソースの真正性担保



ETL、データ加工の追跡性の確保



学認RDM



成果の公開

学認による信頼性のある認証基盤

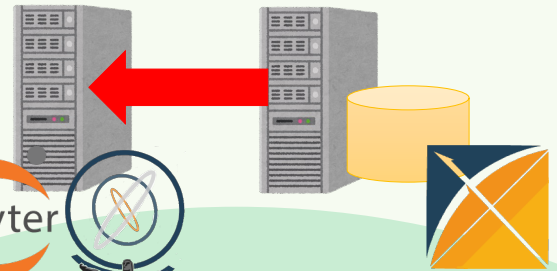


データ分析プロセスの透明性・再現性の確保

- ②タイムスタンプ機能の付いたストレージの活用

分析環境

共通基盤
OMOP CDM



jupyter



- ①組織横断的認証による適切なアクセスの管理



GakuNin